

○荻原市長冒頭あいさつ

(4月18日(水) 頼城多目的研修センターにて)

みなさんこんにちは。大変お忙しい中こうして多くのみなさんにお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

ご案内のように、4月16日から27日まで延べ6日間8会場におきまして、まちづくり懇談会を開催させていただくこととなりました。

この懇談会を通じて、市民のみなさんに市の現状や課題についてご説明を申し上げながら、そしてまた、市政全般についての率直なご意見等をお聞かせいただいで、今後の市政運営に活かしてまいりたいとそのような思いであります。

私も昨年2月に市長に就任してから1年が経過したところですが、市政を預かる者として、市民の皆様との信頼のもとに、安定した市政運営を行うことを信念としまして、特に今年は改革と成長の年と位置付けをしながら、様々な改革に挑戦させていただいて、本市の成長につながるよう、力を尽くしてまいりたいと考えています。

今、芦別市は人口減少、少子高齢化が進んでおり、地域経済の景況感もなかなか実感しにくい状況にあります。先般、国の調査機関におきましては、27年後、芦別市の人口が5,420人になるという、現在の人口が約13,800人ですので、およそ4割程度になるという内容が示されました。機械的な計算であるため必ずしもそういう形にはならないと思いますし、このような形にならないように「オール芦別」で取り組んでまいりたいと思いますが、まさに深刻な現実を突きつけられたところでもあります。

この人口減少の主な要因は、出生率の低下にあると思っておりますが、ちなみに本市の昨年度の出生数は36人となっており、過去最少となっているところですが、このことは一自治体だけでは解決、対応できるものではありません。国においては、子どもを産み育てやすい環境整備というものを、今まで以上に充実すべきだと思っております。

市といたしましても、地域にあった雇用対策を進めながら、若い方たちが地元就職をしていただいて定住に繋がるような取組、更には、子育て対策を推進していかななくてはならないと考えています。

今年度の本市の一般会計予算額は108億5千万円でございます。このうち市民

の皆様からいただく税金、市税は14億5千万円、率に直しますと13%程度となっており、国からの地方交付税に頼らざるを得ないというのが実態でございまして、脆弱な財政状態にあることをご理解いただきたいと思いますが、限られた収入、財源を有効に活用していくことで効果的な財政運営に努めてまいりますので、是非、皆様方にも共通認識として持っていただいて、その上で、皆様方が求めていること、更には地域として進めていかなければならないこと等について、市の職員と一緒に把握・確認させていただきながら対応を図ってまいりたいと考えています。

様々な課題がございますけれども、まずは、市の情報をお伝えさせていただいて、将来にわたって、市にとって市民の皆様にとって、必要な方策等について一緒に考えていただいて、忌憚のないご意見をいただきながら有意義な懇談会になりますようご協力をお願い申し上げ、開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。